

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
編集者 前田 寛
印刷所 東京都千代田区西神田
東千代田7丁目7番地
電話 262-2426・2932
電報 6-36337

外務省・運輸省とも意見交換

文部省主催による第二回修学旅行安全対策連絡会議が、三月二十三日午後文部省会議室で、同省をはじめ運輸省、外務省、関係機関等から約二十名が出席して開催され、(財)全国修学旅行研究協会からは前田に引き続き、前田事務局長、糸賀修学旅行部長が出席した。

安全な海外修学旅行を

文部省が関係者と対策会議



関係者が参集し開催された修学旅行安全対策連絡会議

この連絡会議は、最近、高等学級で増加の著しい海外修学旅行をめぐって、昨年三月二十四日、中国上海郊外の高知学芸高校が被った死者二十八名のほろ列車事故を重大視した文部省が、主として海外修学旅行の安全確保の徹底を期するため、広く関係諸機関を結集し、組織的、効果的な修学旅行の安全対策の確立をめざして企画されたもので、第一回は昨年四月に行われた。

海外修学旅行の安全確保は 実地調査がかなめ

外務省 海外安全相談センターに聞く

学校の教育活動は、その心身の健康、安全の確保が優先する。海外修学旅行が漸増する折、この課題の確保は、国情、言語、風俗、習慣の相違、情報量の不足等で難しい問題である。前月号に掲載した文部省通知に記載されている外務大臣官房領事移住部領事第二課内「海外安全相談センター」は、この要望に応ずる有力な

に防止するの目的である。高知学芸高校の事故以前には、修学旅行の相談は一校もなく、以後十校程あったが、私立校が多かった。外務省に聞いて敷居が高くて遠がらうというが、この二月の文部省通知にも広く紹介されており、積極的にこの活用してほしい。

詳しく調べ、必ず加入しておくことが大切である。学校側との相談を通じ、特に関心した点は次の通り。(1)実地調査を必ず行うこと(2)予算の関係で難点がある場合は、事故防止の大きな鍵であり是非とも実行してほしい。(3)学校からの提出書類が不備な場合は、夜間の連絡先、日曜日や夜間の連絡先、安全対策の不徹底等きめ細かに欠け、自分のところは大丈夫と考えているふしがある。

海外安全相談センター 千代田区千代田区霞が関二丁目一、外務省領事移住部 領事第二課内 ☎03・5800・3311 内線2306

助全修協山本理事長 受章 記念の会 大阪で開催

「木種一先生の功績を称え受章



謝辞を述べる山本理事長

【関西支局】三月二十五日、「山本種一先生の功績を称え受章を記念する会」が新築成った大阪府教育会館大ホールで、三百名余の参加者を得て盛大に開催された。

在阪八団体が発起人となり山本(財)全国修学旅行研究協会理事長の受章を祝して催されたもので、午後三時、開会にあたり発起人会を代表して大波大阪府教職員互助組理事長が述べられた。

長が会の開催主旨を述べ、先生の教育、福祉、労働各分野での多大の功績に敬意を表し、昨秋の叙勲受章のお祝いとを兼ねて行われた。ついで多数の来賓を代表して、大阪府知事(柳庸夫副知事)、松室猛大阪府議会議長、浅野素雄大阪府教育委員会教育長、若生正池田市長、三輪士郎近畿日本鉄道常務取締役、中江平次郎元大阪総評議長、友人代表山本中林之助教育タイムス会長の各氏から祝辞が述べられた。

来賓紹介につき発起人事務局(大友全修協大阪事務局)から山本先生の功績披露、大波大阪府教育公務員弘済会理事長から記念品贈呈、花束贈呈があり、先生から「盛大な記念の会を開催していただき、この深い感謝の意をこめてお礼の言葉を述べたい」との謝辞があった。

ついで交歓の席では友人の本木源市氏が乾杯の音頭をとり、鈴木力全修協常務理事、石井亮一兵庫県学校厚生会理事長、友人の吉田勇氏等多数の方々のスピーチが続いた。(近畿日本ツーリスト)

四月から消費税がスタート

税制改革 消費税が四月一日からスタートした。公共料金などで議決が間に合わず据え置かれたもの、価格表示が税込み(内税)と税抜き(外税)との混在、さらには便乗値上げと、足並みの乱れもあつた。生活に身近なため、「3%」に日本中で話題集中。国内旅行についても、多分にもれないが、航空運賃

や高額な商品・飲食・宿泊料などは値下りし、学生団体割引で新幹線より航空運賃の方が安い区間ができた。宗教法人の拝観料は対象外など、一律とは限らない。入場料金は、大人のみに転嫁し、学生・小人については据え置いたケースもある。

一言でいえば、高級・贅沢品は値下りし、日常生活に關しては3%課税というところである。お土産も海外の高級品は安くなったが、国内では税金の小銭が必要となった。

風紋

花がめくって来た。「草木みなものいづことあり」言葉は発するところなくとも、草木や花々は雄弁である。言葉以上のものを感じさせてくれる。金色の玉を抱く光弁、純白の可憐、紅の愛らしい唇、艶麗な舞姿でも慎ましさを感じてはいない、乙女のはにかみそのものであったり、華麗な芳香を含む。花言葉は花にまつわる伝説や神話から生まれた。年々歳々花似相、歳々年々人同、東洋と西洋での花の見方のちがいは、耳を傾けてわすれな花のささやきを聞か、山川の草木の、城と塔と海と野との、花それ自身はさくらず、見る者の心の中に、感受性の中に、花はいつわらない。季が来れば咲く。寒風や雪に耐え冬の時を語ることはしない。▼平成元年、消費税導入の修学旅行本番が開始される。世の中が変つて不得要領の面もあるが、修学旅行本来のねらいは少しも変わらない。不易と流行は世のなり、新しい修学旅行の模索も引き続き検討されるであろう。▼花盛り春盛りの、野や山を、鷗尾の放光を、飛天の奏でる水れる葉の音を、今年の生徒諸君は、どんな感懐で眺めるであろうか。草や木や花の音が聞けるか、一生の思い出に残る、心に残る修学旅行にしたいものである。▼韓国から初めて修学旅行の高校生が熊本へ。世は国際化の時代といわれ、知る努力こそ必要であろう。しかし、言葉は易いがいざ実践となると、その素地を養うことが肝要になる。生涯学習をふまえて。

信頼される旅づくり

先生たちとの修学旅行「いつまでもわすれません！」

生徒の心にあざやかにつづられる、ツーリストの修学旅行。
先生と、そして友と行った修学旅行。
かけがえのないふれあいがよき思い出として
ひとりひとりの心に残る、そんな旅にしてあげたいですね。
ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する
修学旅行は、各方面より多大なご好評を得ています。
それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、
なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。

近畿日本ツーリスト
本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111 支店 国内242ヵ所(登録) 海外13ヵ所
C 運輸大臣登録一般旅行業第20号

